

**きこえない・きこえにくい人に情報が届く避難所を!!**

**全国の福祉避難所・高齢者施設等に「目で聴くテレビ」専用受信機「アイ・ドラゴン4」を設置してください===見える情報が命を守ります===**

「手話に関する施策の推進に関する法律」が施行され、地域における生活環境の整備等(第10条)では、「災害等の非常事態が発生し、又は発生するおそれがある場合に安全を確保するための手話による情報提供」と定められています。「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする情報アクセシビリティ対応機器です。引き続き、ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の「アイ・ドラゴン4 設置要望書」を提出してください。

**「目で聴くテレビ」の緊急災害リアルタイム手話放送**

能登半島地震リアルタイム手話緊急災害放送の様子

「目で聴くテレビ」は1998年の放送開始から今日まで緊急災害時の情報保障を継続しています。障害者放送通信機構は、全日本ろうあ連盟と全国の加盟団体と協力して「アイ・ドラゴン4」の普及に努め、誰一人取り残されない避難所作りをうたっています。災害はいつ起こるかわかりません。避難所に「アイ・ドラゴン4」を設置して、日常普段から防災訓練や防災学習に活用して備えることが大事です。

**「アイ・ドラゴン4」の機能**

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る  
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る  
(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
- 2,500本超の手話番組アーカイブを  
24時間いつでも見られる



聴覚障害者用情報受信装置  
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

認定特定非営利活動法人  
障害者放送通信機構は、  
文化庁からリアルタイム  
字幕配信事業者の指定を  
受けています

**米子市役所に「アイ・ドラゴン4」設置**

「アイ・ドラゴン4」▲  
聴覚障がい者用情報受信装置



▲米子市役所 本庁舎



▲リアルタイム手話配信

当協会では、2023年8月30日に米子市障がい者支援課、防災安全課、地域振興課と面談を行い、福祉施設や避難所等に「アイ・ドラゴン4」を設置する要望を提出、2023年10月13日には米子市議会稲田 清(いなた きよし)議長(当時)と面談を行い、同様の要望を提出いたしました。その後は、米子市の動きを注視し、その都度担当者と進捗状況の確認を続け、2024年度に「アイ・ドラゴン4」を購入したとの連絡をいただきました。

2025年12月に米子市役所1階のロビーにあるテレビに「アイ・ドラゴン4」を接続し、リアルタイム手話放送が開始されました。要望を出したことにより、活用方法を含めて検討を重ねていただき、購入に至る結果となりました。

「アイ・ドラゴン4」は、「目で聴くテレビ」放送局の専用受信機です。「目で聴くテレビ」は、きこえない・きこえにくい人のための放送局で、きこえない・きこえにくい当事者がキャスターやカメラマンとして番組制作に参加され、手話言語と字幕をつけて、さまざまな情報を配信しています。IPTV(インターネット光回線)によって全国に配信されており、視聴するためには、「アイ・ドラゴン4」とインターネット回線の接続が必要です。

災害時には、リアルタイムで手話言語と字幕による緊急放送で情報を得ることができ、年齢や障害の有無に関わらず、誰でも必要な情報に簡単にたどり着け、利用できる情報アクセシビリティ対応機器です。【2ページへ続く】

(毎週火曜・木曜)

リアルタイム手話放送を放映します

- 米子市では、「手話言語目録」との記載に基づき、毎週5日5時に「米子市議会議員会」を収録しました。
- 手話の普及啓発のための番組として、手話・字幕の番組「目で聴くテレビ」の受信機「アイ・ドラゴン4」を販売し、法律上の義務としてリアルタイム手話放送を放映しています。

「目で聴くテレビ」で  
手話に触れてみませんか

障害者放送通信機構事務局

FAX 06-6242-6502

TEL 06-6242-6501

MAIL medekikutv@gmail.com

**ご寄附のお願い**

リアルタイム手話放送の費用は国の助成金や事業収入で工面していますが、とうていまかないきれず、事業を継続することが難しい状況です。どうかご支援いただけますようお願い申し上げます。

鳥取県聴覚障害者協会発行「とり聴協新聞」2月号より抜粋